



越前市議会だより



戸谷片屋線からまちなかへのアクセスが便利に!!
 都市計画道路河濯線 かわそせん 平成30年開催 福井国体までの開通を目指して整備を推進

歴史・文化を感じる町並みとしての整備や地権者等への配慮を求める

都市計画道路河濯線は、戸谷片屋線から中心市街地へのアクセス向上を図る主要な道路です。9月定例会では、平成28年度一般会計9月補正予算にその整備事業費として約4億5千万円が計上されました。
 物件移転補償に関する進捗状況についての質疑では、理事者から「平成30年の福井国体までに整備を完了する

強い決意を持って取り組んでいる。適正な調査結果を基に誠心誠意交渉に当たっている。」との回答がありました。
 また、整備を進めるに当たり、周辺には神社仏閣が多いことから、歴史と文化を感じる町並みとして整備を進めてほしいとの要望がありました。

【関連③面・産業建設委員長報告】

9月定例会の概要

平成28年第5回越前市議会定例会は9月1日から21日までの21日間にわたって開かれました。

この定例会では、本年度一般会計補正予算案(11億4308万円)など3件、丹南都市計画越前市大規模集客施設制限地区建築条例に関する条例改正案1件、市道路線の認定及び変更に関する一般議案1件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果いずれも可決しました。

また、教育委員会委員、公平委員会委員及び人権擁護委員に関する人事案4件に同意しました。

このほか地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての意見書案を可決、請願2件を不採択としました。

各会計決算認定案8件については、決算特別委員会を設置し閉会中の継続審査としました。

【関連②③⑥面】

本号の主な内容

- 2面 ◆ 9月定例会予算審議
- 3面 ◆ 委員長報告
- 4~5面 ◆ 14議員が市政をたず(一般質問)
- 6面 ◆ 議員研修会を開催



総額12億9,453万3千円の補正予算を可決

(単位:千円)

会計別	補正前 ①	補正額 ②	補正後 ③	伸び率(%) ②/①
一般会計	36,220,340	1,143,080	37,363,420	3.2
特別会計	20,868,595	151,453	21,020,048	0.7
企業会計	2,746,472	-	2,746,472	-
合計	59,835,407	1,294,533	61,129,940	2.2

議案審議



予算審議

■新たな打刃物拠点施設を整備 工芸の里構想推進事業 2000万円

問 工芸解放試験場を解体し、新たに打刃物拠点施設を整備するに当たり、隣接する越前打刃物会館との役割分担や連携はどのように考えているのか。

答 今回整備する打刃物拠点施設は、越前打刃物の技術を後継者に伝えていく施設としての役割に重きを置きながら、越前打刃物の歴史、工芸文化の発信やブランド力を高める施設として整備する。一方、越前打刃物会館は、越前打刃物協同組合の施設として、鎌、包丁、はさみなどの製品の展示・即売を中心とした施設である。このような考え方のすみ分けをして、整備を進めていきたい。

問 新たな打刃物拠点施設の面積は、現在の工芸解放試験場と比較して半分以下となっている。今まで行ってきた金属・木工関係の試験はどうするのか。また、この規模で、打刃物の伝統的技術の継承など後継者育成を図る施設としての機能は十分に果たせるのか。

答 金属・木工関係の試験機能については福井県工業技術センターを利用する。新たな施設の規模については、施設に備える機器も含めて越前打刃物産地協同組合連合会と協議を行い、打刃物の全工程が学べる施設となっている。



解体予定の工芸解放試験場(池ノ上町)跡地は打刃物拠点施設として整備

■ふるさと納税の取り組みを強化 ふるさと納税推進事業 1670万2千円

問 平成27年度のふるさと納税額が平成26年度と比べて14.2%の伸びとなり、本年度のふるさと納税額も昨年度の同時期と比べ2倍以上になっているとのことだが、この理由は何か。

答 昨年12月に返礼品を充実し、インターネット上のふるさと納税ポータルサイトで受付を開始したことや、クレジット決済を導入したことが納税額の増加につながったと考えている。

問 特定の事業を対象とした本市へのふるさと納税の募集を、目標金額と募集期間を設定するクラウドファンディングの形式で実施することだが、具体的な内容や金額は。

答 クラウドファンディングとは、不特定の方からインターネットを経由して資金を調達することで、この形式を取り入れることで、ふるさと納税の返礼品ばかりではなく、本市が取り組んでいる事業に注目してもらいたいと考えている。募集する金額は本年度100万円、11月から来年3月までを募集期間とする。

問 ふるさと納税の返礼品を拡充することについて、全国的にふるさと納税の認知度が上がり、自治体間で返礼品を競い合うような風潮が感じられる。過度な競争に加わることなく、寄付者の思いをしっかりと市政に反映してほしい。

答 越前市を応援していただける方を全国的に増やしていきたいという思いで取り組んでいる。返礼品競争に加わるつもりはなく、節度を持ちながら応援をお願いしていきたい。返礼品の拡充の取り組みが、本市の産業力を全国にアピールするいい機会であると考えている。



クラウドファンディング形式で資金を集め、かこさとし氏の絵画が描かれる文化センター西側壁面

決算特別委員会を設置

決算特別委員会

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査とした平成27年度各会計決算認定8案を審査するため、9月6日に議長及び議会選出監査委員を除く全議員20名による決算特別委員会を設置しました。常任委員会の構成に合わせ、総務・教育厚生・産業建設の3分科会に分かれて定例会終了後に審査し、全体会で採決します。審査結果は12月定例会で報告されます。

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 三田村輝士 | 委員 | 清水 和明 |
| 副委員長 | 川崎 悟司 | 委員 | 加藤 吉則 |
| 委員 | 大久保健一 | 委員 | 吉田 啓三 |
| 委員 | 小玉 俊一 | 委員 | 小形 善信 |
| 委員 | 佐々木哲夫 | 委員 | 西野与五郎 |
| 委員 | 川崎 俊之 | 委員 | 前田 一博 |
| 委員 | 中西 眞三 | 委員 | 伊藤 康司 |
| 委員 | 福田 往世 | 委員 | 片粕正二郎 |
| 委員 | | 委員 | 吉村 美幸 |
| 委員 | | 委員 | 霜 実男 |
| 委員 | | 委員 | 安立 里美 |
| 委員 | | 委員 | 前田 一博 |
| 委員 | | 委員 | 伊藤 康司 |
| 委員 | | 委員 | 片粕正二郎 |

保育園における事故防止等の体制強化を図る。

■災害時用のブルーシートを購入 地域防災対策事業 100万円

問 購入するブルーシートの数や保管先はどこか。

答 ブルーシートは災害時の被災家屋の初期対応に必要な備蓄品であり、今年度400枚を購入し、今後3年間で1200枚を整備したいと考えている。保管先は市内7カ所に分散配置する倉庫等を予定している。

■保育園に事故防止のためビデオカメラを設置／保育士の業務効率化を図る支援システムを導入 保育対策総合支援事業 1629万4千円

問 現在の保育園でのビデオカメラ設置状況は。また、どの部屋に設置するのか。

答 公立保育園8園に設置するほか、民間保育園16園中7園が設置を予定している。残りの9園については、4園が既に設置済みであり、5園は来年度以降改築や大規模改修を予定しているため、そのタイミングで設置を検討すると聞いている。設置する部屋は、全国的に乳児の事故が多く発生している乳児室とほふく室(はいはいができる部屋)を予定しており、

人事

教育委員会委員の任命に同意

澤崎 郁子氏(文京一丁目)

公平委員会委員の選任に同意

桂屋 修氏(本町)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

室賀 幸子氏(粟田部町)

直江あけみ氏(片屋町)

常任委員会委員長報告

議案を審査するため常任委員会を開催しました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

総務委員会

ふるさと納税のPR方法/クラウドファンディング業務に地元業者の活用を求める

ふるさと納税推進事業に関し、委員からは、新たに実施するクラウドファンディングの業務の委託先について質問がありました。

理事者からは、全国的なPR力やシステムを活用するという点で、コスト面や企画力などを勘案し、適切な委託先を選定したい、との回答がありました。

これに対し、委員からは、インターネットを使った発信は地方でも十分にできる。越前市内や近隣市町においてもそれらを活発に行っている業者はあり、積極的に地元業者を使うようにしていただきたい、との要望がありました。

また、委員からは、越前市へのふるさと納税を増加させていく方法について質問がありました。

理事者からは、PRはもろろんのこと、返礼品を充実させるため、新たに市民提案制度を取り入れ、市民の方から返礼品に対するさまざまな提案をいただき、共にふるさと納税を盛り上げていきたい、との回答がありました。



ふるさと納税返礼品の一例「いわさきちひろ関連グッズ」(ハンカチほか8点セット)

市民バスの主な改正点と市民の声を活かした運営について

公共交通対策事業に関し、委員からは、市民バスのルート変更や運行時間変更にあたり、どのように市民の声を聞き、意見を集約し、まとめているのかと質問がありました。

理事者からは、毎年市民バスに乗り込んで実際に利用者の声を聞いている。また、バスの利用が見込める方へのアンケートの実施や、運行事業者やバス乗務員への聞き取りなども行い、それらの意見を集約し、地域公共交通会議において協議を行っている、との回答がありました。

また、別の委員からは、市民バスの主な改正点について質問がありました。

理事者からは、主な改正点としては市街地循環北ルートにおいて、利用者の希望の多かったスーパーマーケットを営業時間中に経由すること。また、まちなかにお住まいの方が郊外のショッピングセンター等に長く滞在できるよう、国高・北日野ルートにおける3便目のダイヤの変更を行うことなど、利便性の向上を図っていく、との回答がありました。

市役所を訪れる市民が駐車場不足で困ることのないように丁寧に対応せよ

庁舎管理事業に関し、委員からは、生涯学習センター等の解体工事で利用が制限されている市役所駐車場について質問がありました。

理事者からは、市役所駐車場が満車となった場合は、平和堂横の駅北パーキングを利用していただき、利用された市民の方には、窓口で駐車料金が2時間無料となるサービス券を配付している。また、本庁舎以外の職員や市に出入りする業者にも駅北パーキングを使うように周知している、との回答がありました。

これに対し、委員からは、来庁された市民の方には、職員から駅北パーキングに駐車されたかどうかお聞きし、サービス券を渡すよう徹底してもらいたい。また、駐車時間が2時間を超えた場合についてもサービス券の追加配付など適切な対応をしてもらいたいとの要望がありました。

教育厚生委員会

保育園内に設置するビデオカメラを活用し事故を未然に防止せよ

保育対策総合支援事業について、委員からは、保育園内での事故防止のためのビデオカメラ設置に関し、事故を未然に防止するためのカメラ設置であり、事故につながる恐れのある事象を事前に把握するため、有効な活用にも努められたいとの要望がありました。

住民主体の支え合いによる介護予防事業は一部の人の負担が過大にならないよう配慮せよ

介護予防・日常生活支援総合事業費に関し、委員からは、介護保険制度改正に伴う住民主体の支え合いによる介護予防事業「いきいきふれあいのつどい」を拡充することに関して、高齢化社会が進展する中で、今後、地域における負担の増大が懸念されるが、その改善策について質問がありました。

理事者からは、市においては、今年4月から、地域での助け合いによる介護予防活動を推進する地域支え合い推進員を2名配置した。来月から各地区で地域支え合い推進員を選出していただき、地域で開催される「いきいきふれあいのつどい」の拡充の支援などにご活躍いただきたいと考えている。また、地域において介護予防サポーター養成講座を開催するなど、一部の方の負担が過大にならないよう、みんなで少しずつ支え合うような社会を目指して進めていきたい、との回答がありました。



10月4日に武生西公民館で開催された介護予防サポーター養成講座

産業建設委員会

森林の境界を明らかにすることは重要なことであり、県補助終了後も進めることが必要

森林整備地域活動支援事業について、理事者から、この事業は、森林所有者の高齢化等に伴い、森林の境界が不明確になりつつある現状への対策として、境界に関する情報を図面やデータとして残し、次世代に引き継いでいくため、県が新規で始めた事業を活用するものであり、事業期間は5年間を予定しているとの説明がありました。

これに対し、委員からは、予定されている5年間が過ぎた後における、事業実施の方針について質問がありました。

理事者からは、この5年間において、市内人工林総面積のうち10%の境界を明らかにすることを目標に取り組んでいくが、それ以降についても、さらに境界を明確にするために、県に対して事業の継続実施を要望していきたいと考えているとの回答がありました。

これに対し、委員からは、境界の明確化は、林業を実施していくにあたって重要なことであることから、場合によっては県費に頼ることなく、市単独で押し進めていく必要もあるとの意見がありました。

河渥線の地権者等には早い段階で物件移転補償金の概算を示すなど配慮が必要

補助道路整備事業について、委員からは、都市計画道路河渥線整備事業に関する工事のスケジュールについて質問がありました。理事者からは、平成27年度に全整備区

市議会本会議・常任委員会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、入口で住所、氏名などを記入するだけでどなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

12月定例会日程

月日	会議名
11月29日(火)	本会議(決算特別委員会審査結果報告、採決、提案理由説明)
12月 2日(金)	本会議(代表質問)
6日(火)	本会議(質疑、一般質問)
7日(水)	本会議(一般質問)
8日(木)	本会議(一般質問)
12日(月)	常任委員会(教育厚生委員会)
13日(火)	常任委員会(産業建設委員会)
14日(水)	常任委員会(総務委員会)
20日(火)	本会議(各委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)



産業建設委員会による現地視察(10月25日実施・平出一丁目付近)

間の用地測量を終えるとともに物件調査に着手し、平成28年度にかけて調査を行っている。同時に地権者等との交渉も進めており、了解をいただけたところから、埋蔵文化財の調査を経て工事を行い、福井国体開催までの完成を目指して事業を進めていきたいとの回答がありました。

さらに、委員からは、福井国体の開催までには2年しかないが、それまでに住民の住居移転や工事は間に合うのか。また、早い段階で、物件移転補償金の概算を提示しなければ、移転を迫られている住民は、土地探しや新築などといった対応もできないのではないかと質問がありました。

これに対し、理事者からは、これまでも各地権者等に誠意を持って対応させていただいている。引き続き地権者等の理解と協力がいただけるよう、丁寧な説明に努め、国体開催までの完成を目標に、しっかりと取り組んでいく。また、物件移転補償金の提示に関しても、可能な限り早い対応を図ってきたいとの回答がありました。

9月定例会
一般質問

9月定例会では、14人の議員が9月7日・8日・9日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

防 災

今回の原子力防災訓練の検証結果を示せ

問 県が高浜原発での過酷事故を想定し、越前市において小浜市からの避難者の受け入れや避難所開設運営訓練を実施したが、市はその検証と今後の対策をどのように考えるか。

答 市としては、職員の配置、受入手順、小浜市との連絡体制、避難所や駐車場の誘導など、多くの課題があると認識しており、受入マニュアルや避難所運営体制について国や県に改善を求めながら、見直しを図っていく。今後も各種研修会や出前講座等での啓発に努めていきたい。

他の質問項目

・空き家対策



川崎 悟司

政新会

他の質問項目

・越前市の防犯体制

緊急メール登録の市民への啓発を図れ

問 ①市民の携帯電話への緊急メールの登録件数は。②市民へいち早く情報提供していく方法は。

答 ①区長、交通指導員、防犯隊員の方々の緊急連絡メールへの登録件数は213件、市民の方々の丹南ケーブルテレビのライフラインメールへの登録件数は525件となっている。②市民の方には市の広報紙等を通じて丹南ケーブルテレビのライフラインメールへの登録をお願いしている。また、市政出前講座等でもQRコードを使った登録方法を促進している。



大久保健一

誠和会(自民・公明)

財 政 ・ 総 務

来年度以降のうずみ会館の運営方針を示せ

問 来年度以降、うずみ会館の指定管理はどのようにするのか。また、「地元移管」以外の方法としてどのような施設のあり方を考えているか。

答 来年度以降の指定管理は継続せず、地元移管のほか幅広い観点から検討したいと考えている。また、粟田部地区は高齢化率が高い地区であるため、高齢者の方がふれあい、交流できる集いを開催するなど、幅広い世代の方が利用できる方向で検討したい。

他の質問項目

・下水道地域ぐるみ接続奨励金制度
・民生児童委員選出



小玉 俊一

市民ネットワーク

越前市の財政状況を明らかにせよ

問 ①将来負担比率とは何か。②本市の将来負担比率はどうか。

答 ①地方公共団体が将来負担する可能性のある負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものである。②合併特例債や臨時財政対策債など後年度に交付税措置のある有利な市債発行等に努めたことや、財源に余裕が生じた場合に各種基金等へ財源積み立てを行った結果、平成22年度の112.3%から、平成27年度は87.9%まで改善した。

他の質問項目

・改正介護保険
・地元地産地消



吉村 美幸

市民ネットワーク

新 庁 舎

本庁舎建設用地の買収の進捗状況を示せ

問 本庁舎建設の敷地を確保するために買収予定の東側の用地は、既に基本設計の中に組み込まれている。買収の進捗状況、買収経費の概算及び経費の議会承認の時期を教えてください。

答 敷地拡張に関係する地権者には、機会があることに説明している。6月議会前には基本設計における敷地の考え方を説明した。買収補償は、来年度の補償額算定のための土地・建物調査後、買収概算額を議会に提示できる予定である。

他の質問項目

・環境政策
・指定管理制度



佐々木哲夫

未来

中学校に続き、小学校へのエアコン設置も考慮せよ

問 ①現在の熱中症が問題になるほどの猛暑が続く中、小学校の暑さ対策はどうなっているのか。②県内でのエアコン設置状況と、今後の設置を考えているのか。

答 ①小学校の暑さ対策としては、各教室の壁面上部に扇風機を複数台設置している。②県内で福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、坂井市の小学校で設置率100%である。越前市については、市の教育施設全体についての重要度、緊急度や財政状況を総合的に勘案し、検討していきたい。

他の質問項目

・文化センター中ホール跡地利用



安立 里美

政新会

教 育

幼稚園・小学校普通教室にもエアコン設置を行え

問 先般中学校に政治決断でエアコンを設置した。次は小学校に整備するということは求められても良いのではないかと。市民の声も保護者からの声も多い。優先度を高めてほしい。

答 学校教育の中の優先度は教育委員会が責任をもって検討する。市の厳しい財政状況の中、教育委員会の思いを十分踏まえて対応したい。市長部局としては、政治判断より、学校教育の推進の中で一番何が望まれているか、教育委員会の検討結果を踏まえて対応を進めていく。

他の質問項目

・市民後見人育成支援と取組み状況
・吉野瀬川河川改修(シヨートカット工事) 桜橋までの整備状況



中西 眞三

未来

教 育

就学援助費は、必要な時期に速やかな支給を実施せよ

問 就学援助の入学準備金の支給は、学期末のため入学式までに制服や学用品などが購入できない場合がある。国は「支給は年度の当初から」と通知しており、支給時期を早めるべき。

答 就学援助費は、各学期末の年3回にわたって保護者への口座振込により支給している。しかし、国の事務処理通知の趣旨に鑑み、新入学児童・生徒学用品費等についても、今後、必要な時期に速やかに支給するよう支給時期の前倒しを検討していく。

他の質問項目

・市民の生活を尊重した滞納税の徴収業務
・子どもの貧困や少子化対策として、学校給食の無料化対策



前田 修治

日本共産党議員団



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

福祉

高齢者福祉を充実させよ

①生活保護世帯数と保護率の推移は。②福祉サービス利用援助事業の実績と課題は。③市営住宅の申込み推移状況と高齢者の割合は。④高齢者に配慮した公営住宅の導入予定は。

①平成27年度204世帯、保護率は人口千人あたり2.96人で、高齢世帯で増加傾向にある。②現在利用者数82件で認知症高齢者や知的障害者等の相談回数が増加し、十分な対応ができていない。③平成27年度募集15戸に対し、申込み数58件。高齢者の割合は平均11.4%。④今のところ予定はない。

他の質問項目

- ・福井国体に向けた本市の知名度アップ戦略
・伝統的工芸品月間国民会議全国大会での観光PRの具体策

日本共産党議員団

加藤 吉則



手帳を持っていない障がい者の雇用の現状は

障がいがあっても障がい者手帳を持つまでに至っていない人は、手帳を持っていない人よりも就職が厳しいという現状を市はどのように考えているか。

手帳を持たない障がいのある人については、雇用の義務付けがないことや、その障がいの特性について事業主の理解が低いことなどが、就労につながらない要因であると考えられる。こうした状況を解決するには、企業の理解、協力が不可欠であると考えている。

他の質問項目

- ・ワークライフバランス

市民ネットワーク

吉田 啓三



発達障がい者の支援体制を充実させよ

「発達障害者支援法」が改正され、発達障がい者個々の特性に応じた支援が求められる。親が亡くなった後も安心して暮らせるよう、成人後も切れ目のない支援体制が必要であるが、越前市の現状は。

発達障がいを持つ方の親には、収入や住まい、仕事など生活への不安があると思われるが、「親亡き後」の支援体制は現在のところ十分ではない。国や県とともに実態を把握し、必要な支援ができる体制を整えられるよう努めていく。

他の質問項目

- ・ふるさと納税
・地域ブランドディング

未来

小形 善信



子どもの貧困に対する市長の考えをさせ

市長は子どもの貧困問題を今後どのように取り組んでいくのか。子どもの貧困対策については、子どもの将来が家庭の経済状況や生まれ育った環境で大きく左右されてはならないと考えている。子どもの学習支援は行政が全面的に出る対応すべきと思っており、民間の幅広い力と行政の奥深さを上手に組立てながら、貧困の連鎖を断ち切れるよう行政の役割を果たしていく。

誠和会(自民・公明)

川崎 俊之



他の質問項目

- ・児童養護施設の今後のあり方

道路・住宅

歩道の段差解消のために整備を実施せよ

役所周辺の歩道は幅が狭く、傾斜もあり、高齢者や車いすの方が歩きにくい状況にある。その解消にむけた市の考えは。

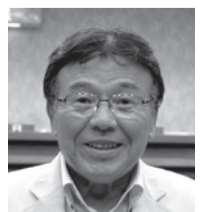
歩道の段差解消については、歩行者に安全で安心して快適に利用していただく上で重要な課題だと認識しており、必要箇所の整備を順次進めていく。また、公会堂記念館から市庁舎に向けての歩道は、第3期市中心市街地活性化基本計画案において整備対象事業の一つに位置付け、歩道を含めた道路整備を予定している。

他の質問項目

- ・市長の政治姿勢
・大型補正予算への市の対応状況

諸派

片粕正二郎



生産年齢人口の確保のため、住宅関連施策を充実させよ

働く世代の定住化促進のための住宅関連施策の内容と実績、手応えはどうか。

住宅取得緊急支援事業を初めとする住宅関連施策について、市内外の161事業者を訪問し、PRした結果、新規申請件数が8月末で134件となっている。訪問による積極的なPR活動により、企業担当者にも制度への理解と協力をいただいていると感じている。今後も、事業者の方と顔の見える関係を構築しながら取り組んでいく。

他の質問項目

- ・女性の起業支援
・非婚、晩婚化の改善策

誠和会(自民・公明)

清水 和明



議会中継をインターネットで見よう

本会議の録画映像は、見たいときにいつでも議員ごとに見ることができます。

議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック → ②インターネット議会中継をクリック



越前市ウェブサイト 検索

議案の議決結果

平成28年 第5回越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	審議結果
議案第47号	平成28年度越前市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第48号	平成28年度越前市下水道特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第49号	平成28年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第58号	丹南都市計画越前市大規模集客施設制限地区建築条例の一部改正について	可決(全員)
議案第59号	市道路線の認定及び変更について	可決(全員)
議案第60号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意(全員)
議案第61号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意(全員)
議案第62号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
議案第63号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決(全員)
請願第1号	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	不採択(全員)
請願第3号	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	不採択(多数)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成:賛 反対:否)

議案	賛 否																					
	市民ネットワーク					未 来					誠和会				政新会			共産		諸派		
	吉村 美幸	小玉 俊一	霜 実男	吉田 啓三	三田村 輝士	佐々木 富基	佐々木 哲夫	小形 善信	中西 眞三	伊藤 康司	福田 往世	大久保 健一	清水 和明	川崎 俊之	前田 一博	安立 里美	川崎 悟司	城戸 茂夫	加藤 吉則	前田 修治	西野 与五郎	片粕 正二郎
請願第3号 臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	賛	否	賛	否	賛	賛	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	議長	賛	賛	否	否

(注)議長は採決には加わっていません。

誠和会：誠和会(自民・公明) 共産：日本共産党議員団

観光行政の先進地 高山市の取り組みを学ぶ

友好都市高山市の 行政視察を実施

高山市と越前市は、市政や風土などが類似した都市形態であり、金森家や本陣屋と高山陣屋とのつながりなど歴史的な背景を絆として、旧武生市時代の昭和57年に友好都市の提携をし、以後相互交流を行っています。

今年越前市議会が10月8日・9日に高山市議会を訪問し、「観光行政」をテーマに意見交換会を行いました。

意見交換会では、高山市の観光課職員より観光施策について説明を受けました。高山市では、古い町並などの景観保存や外国人観光客対策、バリアフリー対策などに取り組んだ結果、年間約430万人の観光客が高山市を訪れています。

越前市議会では今回の行政視察を参考に、今後、市の観光行政に意見を反映させていきたいと考えています。



高山市の観光行政を説明する
高山市の担当職員



高山市議会議員と観光行政をテーマに
意見交換を行う

常任委員会のあり方と その役割を学ぶ

丹南地区市町議会 議長会議員研修会を開催

10月11日に平成28年度丹南地区市町議会議長会の合同研修会が開催されました。丹南地区市町議会議長会では、毎年、丹南地区2市3町の議員が参加し、丹南地区の諸問題や議会活性化などの共通する課題を解決するための研修会を実施しています。

今年の研修会では、講師に野村稔氏(元全国都道府県議会議長会理事調査部長)を迎え、「常任委員会・議会運営委員会の役割」をテーマにご講演をいただきました。

講演では、常任委員会について、常任委員会は市の事務に関する調査及び議案などを審査するために設置されるものだが、現状は付託された議案の審査を中心に運営されており、本来のもう一つの役割である所管事務調査の充実が望まれることや、議会運営を円滑に行うための協議機関である議会運営委員会のあり方など、長く議会運営に関わられた経験をもとに、ユーモアを交えながらお話しいただきました。



丹南地区市町議員72名が参加し、
野村氏の熱弁に耳を傾ける

問合せ先

市議会事務局

TEL (22) 3426